



# 晩秋の皇居(東御苑と参観コース)を歩く ～江戸時代と現代が交錯する～

## 大都会東京のオアシス

季節はすでに晩秋。史跡クラブ11月の「史跡めぐり」は皇居だ。21日(火)、いつものように大宮駅集合で、メンバー6人が集まった。事前申し込みした、皇居一般参観は幸運にも当選した。当日は「小春日和」の暖かな日差しのもと、先ず東御苑を見学した後、大手町界隈で昼食。午後の皇居一般参観では五百人超の人々に混じり、係員の解説で楽しく皇居を

### 東側地区の「皇居東御苑」 一般公開から四十九年

総面積115万㎡、およそ35万坪あまりの広大な緑を残す皇居は、徳川幕府の居城「江戸城」であった。お堀で囲まれた皇居には、二重橋のそばにある皇居正門を始め、桔梗門、半蔵門、乾門、北桔梗門、平川門、大手門、坂下門の8つの門がある。

皇居は乾門通りを境に、東側地区と西側地区に分かれる。

東側地区には旧江戸城の本丸と二の丸・三の丸があり現在、公用部分を除いて、旧本丸、天守閣跡などが1968年昭和43年から皇居東御苑として一般に公開されている。

最初に私たちは、三の丸尚蔵館を見学。館内には昭和天

**皇居参観案内図**

● (---) 一般参観コース 参観所要時間は約1時間15分

1 一般参観コースから見える建物等	2 皇居東御苑内にある建物等
1 室明館(休所)	1 天守台
2 元祖密院庁舎	2 桃華楽堂
3 富士見櫓	3 東御庁舎
4 蓮池梁	4 審判部庁舎
5 富士見多聞	5 桃林殿
6 宮内庁庁舎	6 伏見坂
7 宮殿東庭	7 都道府県の木
8 宮殿	8 庫坊の茶屋
9 正門鉄橋(二重橋)	9 同心番所
10 伏見櫓	10 百人番所
11 山下通り	11 大番所
	12 松の大廊下跡
	13 三の丸尚蔵館

### 西側地区の「吹上御所」を 事前参観予約が必須

西側地区は吹上御苑と旧西の丸とから構成されており、天皇・皇后両陛下がお住まいの御所、諸儀式を行う宮殿や宮内庁の庁舎などがある。皇居一般参観の出入口は桔梗門だ。入城してすぐ、参観者の参観開始時間までの休所に使用されているのが窓明館だ。私たちは係員の案内で、窓明館を13時40分に出発。

すぐ左手の石垣を見ると大名の紋を刻んだ石がところどころ見受けられ、武士の魂を感じられて興味深い。

ゆるやかな坂を上り、左に進むと石垣の上にそびえ立つ三重の富士見櫓が見えてくる。さらに進むと、正面には昭和10年(1935年)に建築された宮内庁庁舎が建つ。左手に坂下門を見ながら塔の坂を上ると宮殿が見えて来る。

### 一般参観は「長和殿」で

ゆるやかな勾配の屋根が特徴の宮殿は、日本建築の伝統を重んじた建物だ。延べ面積はおよそ23,000㎡。正殿・豊明殿・長和殿など、7つの棟から構成されている。



鉄橋(二重橋)から望む 伏見櫓

(12月23日に、天皇・皇后両陛下をはじめとした皇族方が国民の祝賀をお受けする一般参賀の会場にもなっている。長和殿の次は、正門鉄橋(二重橋)だ。橋を渡り右手をふり返ると、伏見櫓が見える。この櫓は京都伏見城の櫓を移築したと伝えられる。折り返して、北車寄せへと向かう。宮殿の豊明殿・連翠を左手に見て山下通りへ。このあたりは皇居のなかでも静寂で、緑の森が多く、四季折々の美しい景観がよく保全されている。まさに皇居は、大都会東京のオアシスのような存在だ。山下通りを通過し、一般参

観は終了する。参観コースは  
およそ2km、1時間余りだ。